



特集
高齢者を支える

いつまでも
住み慣れたまちで
暮らし続ける

年齢を重ねても、住み慣れたまち、自宅で生活し続けること。これは、多くの人の願いです。病気になるっても、介護が必要になっても、これまで暮らしてきた地域で安心して生活してもらいたい。そんな思いから、市では、いわゆる団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、医療や介護サービスを一体的に提供する地域づくりを進めています。

その一環として、市内の地域ごとに高齢者総合相談窓口を設置し、医療や介護に関する相談に応じています。

高齢者の皆さんが気軽に足を運び、相談できる、居心地の良い場所になるよう心がけています。今回の特集では、皆さんの地域の相談場所、そしてそこで働いている担当者を紹介します。

岡地域包括支援室

☎9833・2689



ほっ

まちを歩けば、とできる場所がある

安心と笑顔が繋がるまち、みしま

「知って、使って、ほっとする」
いつでもそこにあるあなたの相談窓口
気軽にご相談ください

自宅で安心して医療が受けられるようになりました 医療介護連携センター開設

平成30年4月から、全国一斉に在宅医療と介護の連携事業が始まります。それに先駆け、三島市医師会内に三島市医療介護連携センターを開設しました。

在宅医療コーディネーターが医師を紹介

「かかりつけ医がない」「家族を自宅で看取りたい」「通院できなくなってしまう」などの理由により、在宅医療が必要な人に医師を紹介します。

相談はどなたでも

本人（原則、市内在住の40歳以上の人）、家族、医療・介護関係者からの在宅医療に関する相談に応じます。

それ以外の人から相談があった場合は、必要に応じて関係機関を紹介するなど、適切に対応します。

- ① 5月1日の除幕式の様子
- ② 実際に在宅医療コーディネーターが常駐するセンター



ケアマネジャーや看護師の経験を踏まえて相談に応じます。



在宅医療コーディネーター 藤井章子さんのコメント

医師へ直接、「往診に来てほしい」「困りごとがある」などの相談をすることは、敷居が高く、相談しづらいと思っています。人は多いと思います。

コーディネーターとして自分が間に入ることで、相談内容に応じて適切な窓口案内をしていきたいと考えています。

医療介護連携センター情報

相談時間 月曜～金曜日午前9時30分～午後4時（祝日、8月15日～17日、12月29日～1月3日は休み）
ところ 南本町4・31（三島市医師会館2階）
問合せ ☎ 972・0712 FAX 957・3015

三島市医師会が医療の面からバックアップします

医療に関する相談については、100人いれば100通りの答えが生まれます。相談の解決策が同じように当てはまる人はいません。

センターへ医療のトラブルに関する相談が来た場合、その人にとって最適な方法を、医師会の委員会で考えることになっていきます。複数の医師が、対象者の医療に関する困りごとの解決策を考えると、これは、従来ではなかったことです。利用者にとってメリットとなり、安心して相談いただけると思います。

どのような相談がくるのか、まだ見当がつきませんが、柔軟に対応できるよう自然体でお待ちしています。

よしとみゆうじ
吉富雄治

（宮内まこと記念クリニック：院長）
（医療介護連携センター：センター長）